

お家で過ごすことが多くなったこの時期だからこそ、改めて自分たちの住む飯山北地区を学んでみませんか？

【問題 1】地名の由来（左の由来と右の地名を線をつないでください） 答えは 8 ページ

- | | |
|---|----------------------|
| ① 上池・下池など〇つの池があるところから起こった地名。
付近には原始時代の住居地跡で遺物が多く出土している。 | アオイシ
青石 |
| ② 昔、この地にあった寺の名僧が鐘について正時を知らずこと多年、地方の民衆よく時間励行の美風をおこしたことにはじまるという。 | スガタニ
姿谷 |
| ③ 旧金比羅街道の道標として〇色の石が立てられてあるので起こった地名。
同様の〇い石が、川原岸上松本美容院の前にもある。 | サントキ
(サネトキ)
真時 |
| ④ 讃王神社の神体は鏡であることから地名をこのようにつけたと伝えられる。
(もとは姿見であった) | カワラ
川原 |
| ⑤ 奈良時代ごろ、鋳物師が住んでいた所と伝えられる。「天香山命」を祀る
「金の宮」があり、この付近の田から鉄屑が多く出ている。 | サンノイケ
三の池 |
| ⑥ 北谷地区に〇〇寺があったところから名付けられたと思われる。寺は兵火に
かかるなどして三谷寺に移された後高松市に移る。三谷寺の末寺である。 | ミネンド
(ムネンド)
峯道 |
| ⑦ 鷲住王の昔から代々領治者が国を治めている地という意味から出たものか？ | クニモチ
国持 |
| ⑧ 地形からきたという説と、峯の上にあった寺跡より「峯の堂」という
二つの説がある。 | ソデムラ
袖村 |
| ⑨ この集落の地形が衣の袖のようである説と、神屋敷を十石さんと称して信仰
しているところから神の字を袖と略して名をつけた説がある。 | イモジバラ
鋳物師原 |
| ⑩ 旧記によれば徳川時代の正保年間以後に名付けられたとある。土器川の支流
が流れていた跡を開拓したことによるか。 | キミヨウジ
久米氏 |

【問題 2】江戸時代（天保 9 年 1838 年）村々の概要（当てはまる村名をいれてください）

東坂元村

西坂元村

真時村

川原村

答えは 8 ページ

村名	東坂元村	西坂元村	真時村	川原村	合計
家数	72	221	139	350	782
人数	298	826	549	1,267	2,931
馬・牛数	30	37	57	216	906
池数	0	9	0	75	84

* 昭和 63 年発行の飯山町誌より引用